

第4回 部会検討結果報告書（健康・福祉部会）

記録者	桂川	場所	市役所北庁舎第1・2・3会議室	
開催日時・場所	平成28年9月10日（土） 午前10時00分 ~ 12時			
出席者 （11名）	大島 雅章	糟谷 知香子	金岡 健二	小出 由美子
	原口 晋一	宮崎 一司	宮原 亮	桂川 由貴
	高畑 翔吾	竹内 遼	保坂 将太	
傍聴者	0名			

基本施策名	障害者サービスの充実
-------	------------

今後（後期期間で）予想される新たなニーズ・課題（ウ）について

- ・ 障害者に対して偏見を持つ傾向が依然として見られるため、周囲の人々が障害を「個性」として認識し、障害者を理解する地域づくりが重要である。
- ・ 災害時の対応、避難所の対応を強化させる必要性がある。

後期基本計画策定に向けた見直しの論点（H30～33年度）（エ）について

【障害者への相談支援機能の充実】

- ・発達障害の子に対する人的配慮を強めていく必要がある。相談までに至らないケースが多く見受けられるため、発達障害を早期発見できる体制づくりが必要。
- ・また、障害がある子の一生を保育園から小、中、高と継続してサポートできる支援体制や支援者の育成が必要である。

【障害者の就労支援】

- ・障害者は就労後に離職率が高い傾向にあるため、その原因を分析することで離職を防止する効果が得られるのではないか。

【障害者の地域生活支援】

- ・災害が起きたときに、福祉避難所はあるが、地域ぐるみの訓練が欠如している。
避難支援体制の整備

協働の実践に向けて（オ）について

【障害者の社会参加支援】

- ・公園や郷土の森博物館等の市内施設において、公園清掃や農作業の手伝いをする。
- ・国立市では「障害者が当たり前暮らし宣言」を出している。府中市もそのように市民啓発のための宣言を出してはどうか。

【障害者の就労支援】

- ・就労支援の仕組みづくりをする。

【障害者の地域生活支援】

- ・障害者の視点も取り入れた総合防災訓練の実施。

第4回 部会検討結果報告書（健康・福祉部会）

記録者	竹内 遼	場所	市役所北庁舎第1・2・3会議室		
開催日時・場所	平成28年9月10日（土） 午前10時00分～12時00分				
出席者 （11名）	大島 雅章	糟谷 知香子	金岡 健二	小出 由美子	
	原口 晋一	宮崎 一司	宮原 亮	桂川 由貴	
	高畑 翔吾	竹内 遼	保坂 将太		
傍聴者	0名				

基本施策名	社会保障制度の充実
-------	-----------

今後（後期期間で）予想される新たなニーズ・課題（ウ）について

予想される新たなニーズ

- ・特定保健指導実施率向上に向けて、市民の意識を高めるための啓発方法の改善が必要。
- ・健診項目の見直しをした方が良い。

市民の目から見た課題

（ジェネリック医薬品利用差額通知について）

- ・ジェネリック医薬品は効果がわかりづらい。
- ・言葉は知っていても内容はわからない。
- ・ジェネリック医薬品は模造品というイメージがある。
- ・知識の浸透が不足している。

（健康診査・保健指導について）

・特定保健指導について、糖尿病になる前は痛みがないため危機感がないので、意識の啓蒙が必要である。

・健診の結果を受けても本人の意識が低ければ効果は薄い。チラシなども多くあるが、意識が低ければ見ない。

- ・健康診査に何年も行っていない人への注意喚起があった方が良い。

その他のご意見

- ・訪問診療に来てくれる医療機関が少ない。
- ・健康診査で骨粗鬆症や認知症の検査があれば良い。

は例示です。その他のタイトルもあれば追加してください。

後期基本計画策定に向けた見直しの論点（H30～33年度）（エ）について

- ・健康寿命を伸ばすための健康づくり（何をしたいか、何ができるかを考える）
- ・健康診断項目の見直し
- ・年金事務所を市庁舎内に設置する。

協働の実践に向けて（オ）について

- ・在宅医療の充実（医師の確保・看護師の増員及び処遇改善）
- ・在宅診療のある地域をつくる。
- ・訪問診療の医療機関の増
- ・薬局と連携し、ジェネリック医薬品の啓蒙を図る。
- ・ジェネリック医薬品への知識の浸透を図る。
- ・健診受診のポイント制で受診率をアップさせる。
- ・健診の検体提出日を土・日にも設ける。
- ・糖尿病の重症化予防は本人の自覚の問題なので督促を積極的に行う。
- ・地域包括センターの活用